



『演題』 富雄丸山古墳の被葬者像

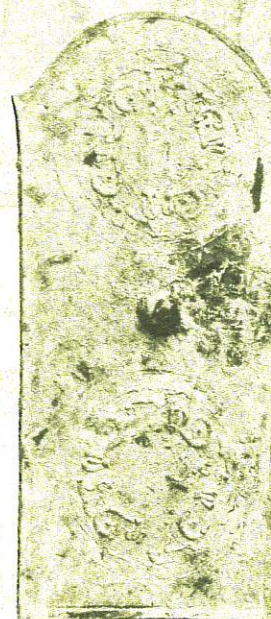
『講師』 辰巳和弘先生
(元同志社大学教授)



蛇行剣

[画像は奈良市教育委員会提供]

新春早々、奈良市教委が発掘調査中の富雄丸山古墳での、独創性に富む盾形銅鏡と長大な蛇行剣出土の報道は考古学界の耳目を驚愕させた。この機会に丸山古墳に関する既報告の考古情報から、古墳時代人のこころの奥底に参入する試みに挑戦してみたい。また奈良盆地北部での丸山古墳の歴史的な位置付けと、そこから考えられる被葬者像を提示しようと思う。



甕龍文盾形銅鏡

[画像は奈良市教育委員会提供]

日：2023年8月5日(土)

時間：講演 午後1時30分～3時30分(予定) (受付 午後1時00分より)

場所：平群町総合文化センター(近鉄生駒線 平群駅 下車スグ)
くまがしホール

入場無料 定員(370名)に達し次第締め切ります

【午前8時に平群町に警報発令の場合は、翌6日(日) 同時刻に延期】

主催：平群史蹟を守る会 後援：平群町教育委員会
連絡先：〒636-8585 奈良県生駒郡平群町吉新1丁目1番1号
平群町教育委員会内 平群史蹟を守る会事務局
電話：0745-45-2101

*ご参加にはマスク着用をおすすめします 又、感染状況により、中止の場合があります